

「大学教員の基本的な教育職能の基準枠組」

教育職能の領域	教育職能の観点
1. 大学コミュニティについての理解	<p>1-1 大学に関する基礎知識がある。必要に応じて更新する。</p> <p>1-1-1 所属する大学組織について理解する。</p> <p>1-1-2 所属する大学の教育システム・環境について理解する。 (教育理念、各ポリシー、プログラム構成、学生の特長・実態、活用できる教育・学習環境など)</p> <p>1-1-3 大学、部局の各種ガイドラインについて理解する。</p> <p>1-1-4 高等教育の全体構造、一般的動向について理解する。</p> <p>1-2 同僚とのコミュニケーションをとる。</p> <p>1-2-1 教員間、その他組織の構成員と教育への思いや困難について共有する。</p> <p>1-2-2 コミュニティ形成の基礎がある。</p>
2. 授業のデザイン (目標設定、実施計画、成績評価)	<p>2-1 授業デザインのための基礎知識がある。必要に応じて更新する。</p> <p>2-1-1 授業デザインの意義、設計及び改善の方法、教育プログラムとの関連について理解する。</p> <p>2-2 授業デザインのためのスキルを持つ。</p> <p>2-2-1 教育プログラムのポリシーに照らして、授業の目的、意図する学習目標を設定する。</p> <p>2-2-2 学習目標に合わせた科目の授業計画を設定する。</p> <p>2-2-3 学習目標を明確にした1回の授業計画を設定する。</p> <p>2-2-4 学習目標に合わせた成績評価の基準と方法を設定する。</p> <p>2-2-5 学習成果の省察に基づいて、意図する学習目標・授業計画を改善する。</p>
3. 教育の実践	<p>3-1 教育実践に関する基礎知識がある。必要に応じて更新する。</p> <p>3-1-1 学生の学習についての基礎知識、学生の学習を促す授業方法についての基礎知識がある。</p> <p>3-1-2 自らの授業実践について論理的な説明をする。</p> <p>3-2 学習者中心の授業および学習支援を実現し、学生の学習を促進する。</p> <p>3-2-1 学習目標および学生の実態に合わせて、教育・学習の内容・方法を実行する。</p> <p>3-2-2 学生の学習を促す授業の準備、授業運営を行う。</p> <p>3-2-3 聞き手に配慮した明確なプレゼンテーションを行う。</p>

<p>4. 成績の評価、フィードバック</p>	<p>4-1 教育の評価やフィードバックについての基礎知識がある。必要に応じて更新する。</p> <p>4-1-1 成績評価の意義と目的を理解する。</p> <p>4-1-2 評価の構造と機能を理解する。</p> <p>4-1-3 評価の方法と特徴について理解する。</p> <p>4-1-4 評価自体の評価について理解する。</p> <p>4-2 適切な成績評価およびフィードバックを行う。</p> <p>4-2-1 学習目標に合わせて、成績評価の基準と方法、成績評価のフィードバック等を適切にデザインする。</p> <p>4-2-2 学内の成績評価の方針・システム、成績評価に求められる社会的意義をふまえた評価設計を行う。</p>
<p>5. 継続的な教育開発と自己改善・キャリア開発</p>	<p>5-1 教育開発および教育活動での自己改善・キャリア開発に関する基礎知識がある。必要に応じて更新する。</p> <p>5-1-1 FD の概念、構造、制度基盤についての基礎知識をもつ。</p> <p>5-1-2 教員自身の自己改善・キャリア開発と FD の関連を理解する。</p> <p>5-2 教育開発、自己改善・キャリア開発のためのスキルを持つ。必要に応じて更新する。</p> <p>5-2-1 学生や教育プログラムの実態、社会の状況、自らの教育活動を統合的に振り返り、改善する。</p> <p>5-2-2 FD の機会を積極的に活用するとともに、その効果について振り返り、今後に生かす。</p>